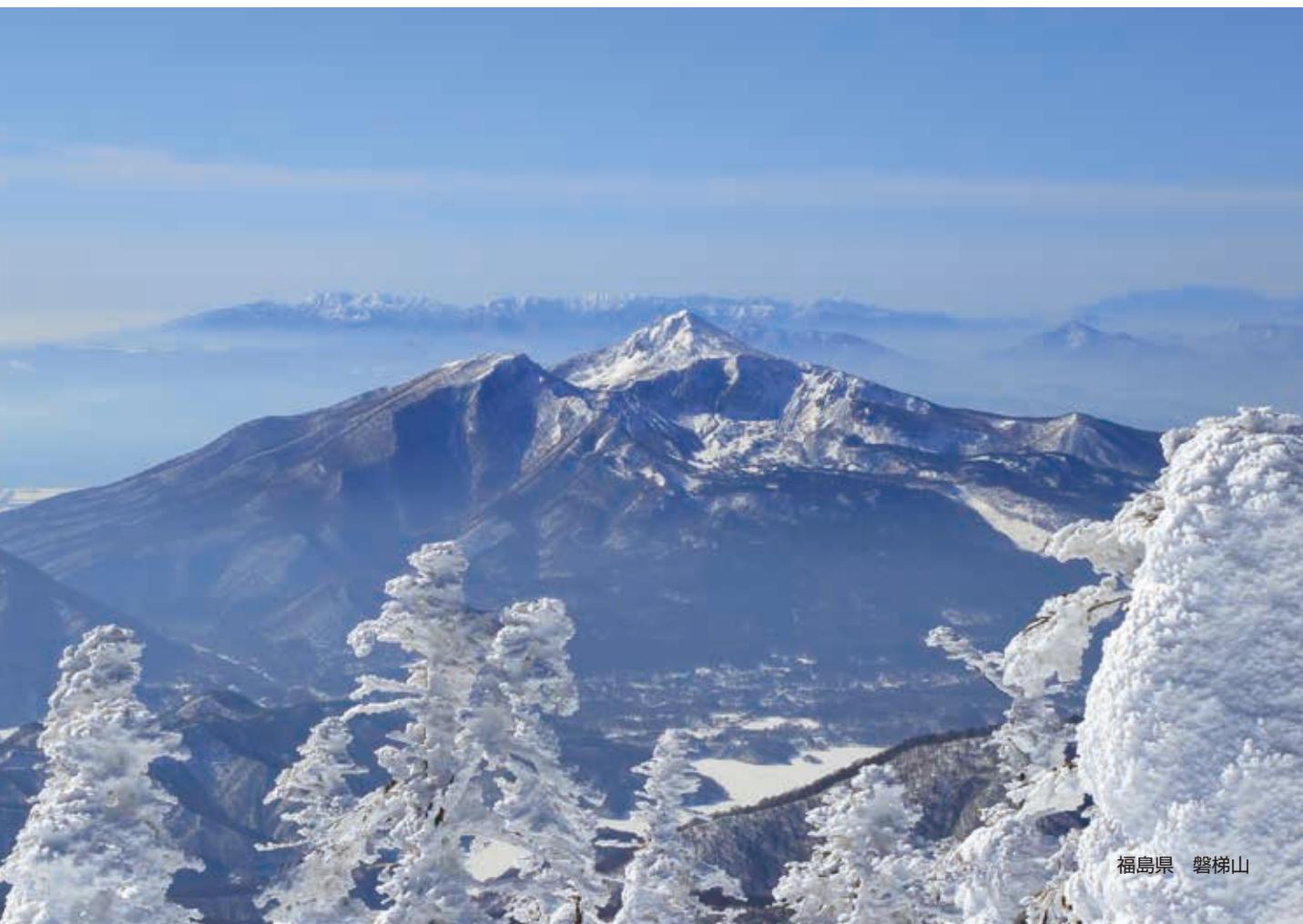


第161期

日東紡 株主通信

2021年4月1日 ~ 2021年9月30日

- ◆ 株主の皆様へ
- ◆ 事業紹介
- ◆ 主要ラインアップ
- ◆ マテリアリティ(重要課題)
- ◆ サステナビリティ経営
- ◆ 財務ハイライト(連結)
- ◆ 財務諸表(連結)



株主の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

第161期第2四半期（2021年4月1日から9月30日まで）の業績および取り組みについてご報告申し上げます。

当第2四半期におけるわが国経済は、緩やかに持ち直しつつあるものの、緊急事態宣言の長期化による経済活動の抑制や個人消費の低迷等により、厳しい状況が続きました。世界経済も、半導体不足や原油価格の上昇に加え、経済活動再開による需給のミスマッチや物流網の混乱が相まって、依然として先行き不透明な状況にあります。こうしたなか、当社グループは2021年4月より3年間の新中期経営計画をスタートさせ、持続可能な社会実現のために、「環境・エネルギー」「デジタル化社会」「健康・安心・安全」に貢献するグローバル・ニッチ No.1を創造し続ける企業グループを目指し、成長戦略の実践と経営基盤の強化に取り組んでおります。

株主の皆様には引き続き倍旧のご支援とご理解を賜りますようお願い申し上げます。



取締役 代表執行役社長

辻 裕一

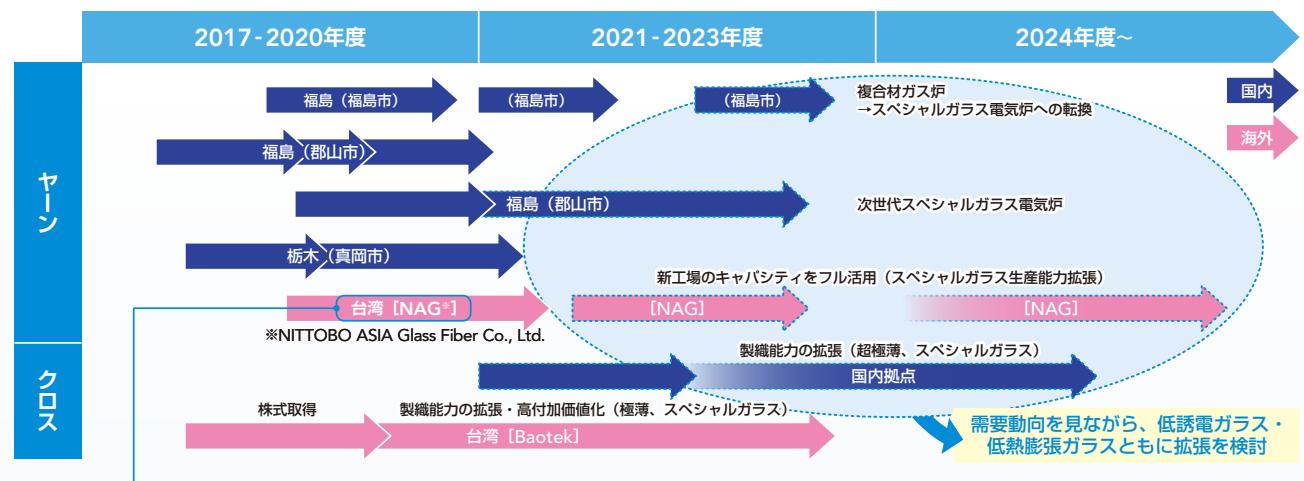
第161期第2四半期（2021年4月1日から9月30日まで）の業績

当第2四半期は、新型コロナウイルス感染症拡大による業績への影響は残りましたが、一部の事業を除き販売は回復に向かい、連結売上高は前年同期比7.3%増収の410億円、営業利益は前年同期比35.4%増益の39億円となりました。また、経常利益は、同期間の業績を反映したことや、円安による為替差損益の改善等により、前年同期比38.4%増益の39億円となりました。なお、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期に資産売却を行った反動等により、前年同期比73.3%減益の23億円となりました。

新中期経営計画の進捗につきましては、重点取り組みに着手し、台湾のスペシャルガラス新工場の生産開始、繊維事業・グラスファイバー複合材事業の構造改革の実行等、計画通り推進しました。

台湾スペシャルガラス新工場稼働開始

2020年より建設を進めていた、台湾のグラスファイバー生産子会社であるNITTOBO ASIA Glass Fiber Co., Ltd.において、スペシャルガラスの生産を開始しました。日東紡グループは、これまで国内3拠点（福島県福島市および郡山市、栃木県真岡市）にて、スペシャルガラスの生産設備の増強を行ってまいりました。台湾の新工場は、熔融炉の増設スペースを確保しており、将来の需要動向を見ながら、電子機器産業の集積する台湾において生産能力を拡大してまいります。



【新工場の概要】

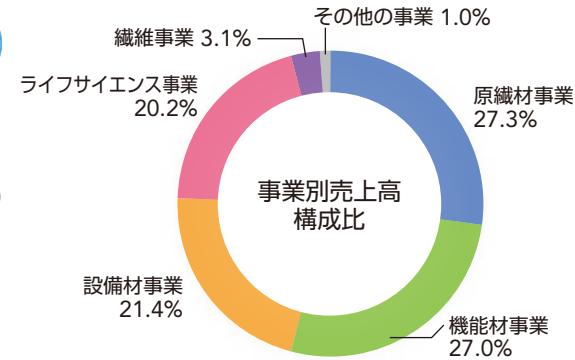
会社名：NITTOBO ASIA Glass Fiber Co., Ltd.
所在地：台湾嘉義縣民雄郷
延床面積：約20,000㎡（地上2階建）

- 日東紡グループ初のスペシャルガラス・ヤーン（NEガラス）の海外生産工場
- 顧客にサンプル提供を開始し、早期の認証取得を目指す



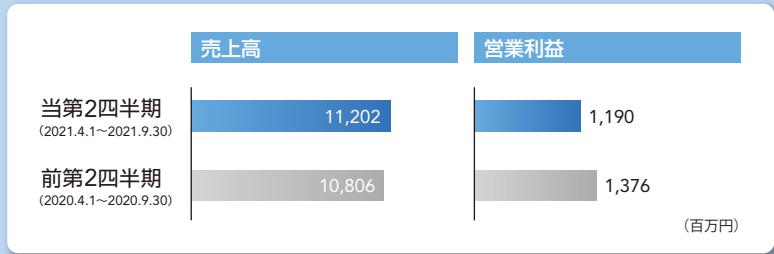
当第2四半期 事業セグメント別業績

事業セグメント別の売上構成比は右グラフの通りです。また、当第2四半期の事業セグメント別の売上高、営業利益は以下の通りです。



原織材事業

原織材事業では、強化プラスチック用途の複合材で販売が回復した一方、国内大型溶融炉の定期修繕など一過性の収益マイナス要因により減益となりました。



機能材事業

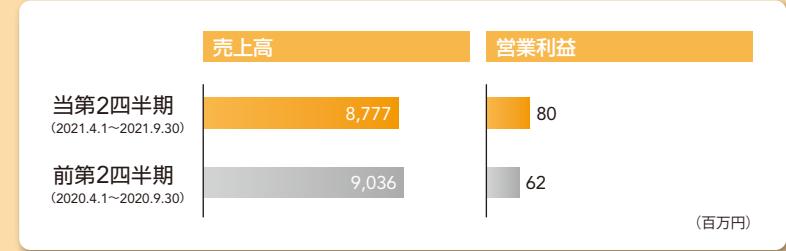
機能材事業では、電子材料向けスペシャルガラス・クロスの販売が増加した一方、基盤強化費用などの増加により、営業利益は横ばいとなりました。



(注) 売上高は外部顧客向け

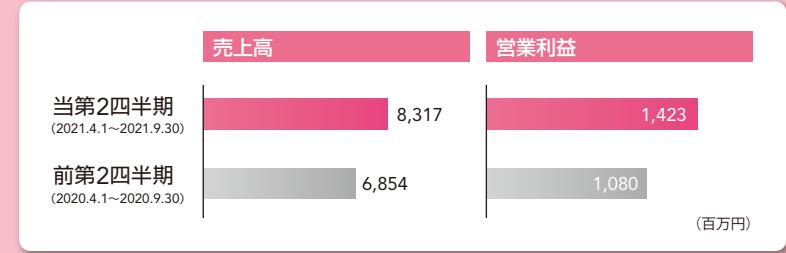
設備材事業

設備材事業では、設備・建設資材向けガラスクロスの販売が減少しました。



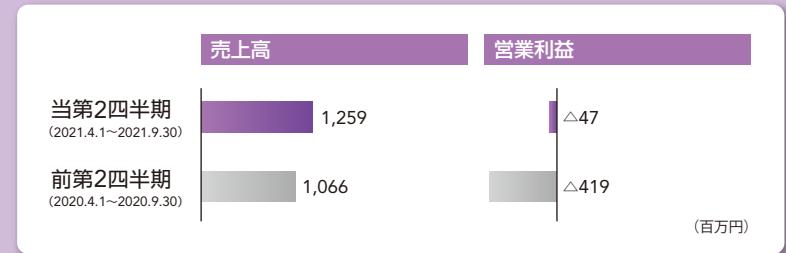
ライフサイエンス事業

ライフサイエンス事業の医療事業は、国内外とも前年同期の販売を上回り、飲料事業は、外出自粛などの影響は残るものの飲料生産受託数量は堅調に推移しました。



繊維事業

繊維事業では、衣料品への消費マインドの低迷により厳しい環境が続いているものの、構造改革の進捗により損益は改善しました。



▶ グラスファイバー事業

原織材事業

特徴あるグラスファイバーを強化プラスチック用途や電子材料用途などに幅広く提供しています。

複合材用グラスファイバー



主な用途

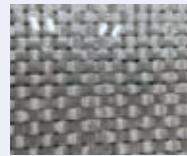


ガラスヤーン



主な用途

クロス材料
・電子材料
・産業資材



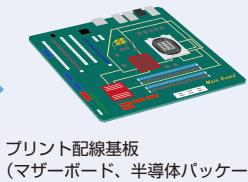
機能材事業

ガラスヤーンで織ったガラスクロスを基地局・データセンターなどのインフラからPC・スマートフォンに至る電子デバイスまで、幅広い電子材料用途に提供しています。

電子材料用ガラスクロス



主な用途



プリント配線基板
(マザーボード、半導体パッケージ)



設備材事業

グラスウールやグラスファイバーを、産業資材用途・建設資材用途に提供しています。

グラスウール



主な用途



産業資材用グラスファイバー



主な用途



▶ ライフサイエンス事業

メディカル事業 (体外診断用医薬品)

体外診断用医薬品は、健康診断や人間ドック、病院での受診の際に用いられる検査薬で、原料から最終製品までの一貫生産を行い、医療・検査機関に提供しています。



取引先

医療機関
・診察
・健康診断
・人間ドック



スペシャリティ ケミカル事業

独自性の高い機能性ポリマー（高分子化合物）を顧客ニーズに合わせ、幅広い用途に提供しています。



主な用途

インクジェットプリンタ助剤
水処理剤
製紙・加工金属助剤など

飲料事業

プライベートブランドのOEM受託を中心に清涼飲料水を提供しています。



取引先



スーパー・ドラッグストア



機能性表示食品を発売
つづけるプラス
ゼロスポーツ
(2021年11月発売)

▶ 繊維事業

接着芯地 ふきん 原糸

衣服のシルエットを整える接着芯地やロングセラー商品「日東紡の新しいふきん®」を提供しています。



主な用途



アパレル



日東紡の新しいふきん®

マテリアリティ (重要課題)

2021年2月、日東紡グループは、『Big VISION 2030』および「新中期経営計画（2021-2023年度）」を策定しました。3つのテーマを掲げ、ESG課題に取り組んでいくことを具体的な行動計画として盛り込んでいます。

2030年にありたい姿『Big VISION 2030』

持続可能な社会実現のために、「環境・エネルギー」「デジタル化社会」「健康・安心・安全」に貢献するグローバル・ニッチ No.1を創造し続ける企業グループ

環境・エネルギーに貢献する 製品・サービスの提供	デジタル化社会に貢献する 製品・サービスの提供	健康・安心・安全に貢献する 製品・サービスの提供
-----------------------------	----------------------------	-----------------------------

全てのステークホルダーから「日東紡でよかった」と思われる企業グループを目指す

マテリアリティとは、中長期視点で企業の事業活動に影響を及ぼす重要課題のことです。日東紡グループは、サステナビリティ経営を推進し、社会的存在価値を高めて豊かな社会の実現に貢献し続けるために、社会課題を幅広く取り上げ、グループにおけるリスクと機会を整理したうえで、事業に影響を及ぼす社会課題＝マテリアリティを特定しました。

2030年にありたい姿の実現に向け、新中期経営計画の施策をマテリアリティに沿ったアクションプランとして、実行してまいります。

マテリアリティ特定のプロセス

- ☑ 日東紡グループが2030年にありたい姿
『Big VISION 2030』および新中計策定にあたり、役職員が議論（当社の強み、各事業への影響、リスクと機会等）
- ↓
- ☑ 社会課題に沿った日東紡グループの課題（＝マテリアリティ）を抽出
- +
- ☑ 日東紡グループの事業展開、リスクと機会の把握
- ↓
- ☑ 日東紡グループが目指すもの、具体的取り組みへの展開

社会課題	日東紡グループのマテリアリティ	主な施策
地球温暖化・環境問題の深刻化 ・循環型社会の形成 ・法規制の加速	環境・エネルギーに貢献する製品・サービスの提供	・環境配慮型新商品の開発
	気候変動と資源循環型社会への適応	・CO ₂ 排出量の削減 ・リサイクル・リユースの推進
超スマート社会の到来 ・通信の高速化（5G/6G） ・AI技術の進化、IoT時代の到来	デジタル化社会に貢献する製品・サービスの提供	・スペシャルガラスによる収益拡大 ・新規商品の開発力強化 ・顧客価値を高めるソリューション力の強化
	社会構造問題 ・少子高齢化（国内） ・人口問題等	健康・安心・安全に貢献する製品・サービスの提供 ・体外診断用医薬品分野の販路拡大 ・新規商品の開発力強化 ・顧客価値を高めるソリューション力の強化
<ul style="list-style-type: none"> ・地政学的リスクの増大 ・業界再編、異業種からの参入等による競争激化 ・社会的要請の高度化、複雑化 ・変革スピードの加速 	持続的成長を続ける企業の実現	
	経営基盤の強化	・景気変動に負けない筋肉質経営 ・事業ポートフォリオの最適化、不採算事業の見直し ・IT／DX導入による技術開発・生産技術の変革 ・調達・サプライチェーンにおけるサステナビリティの維持
	変革を起こす人財の育成	・イノベーション人財の育成 ・ダイバーシティ&インクルージョンの推進 ・働き方改革と業務改革 ・従業員エンゲージメントの向上
	コーポレート・ガバナンスの不断の見直し	・コーポレート・ガバナンスの不断の見直し ・企業倫理、コンプライアンスの徹底

「日東紡グループ 統合報告書2021」を発行しました

当社ウェブサイトよりダウンロードいただけます。

https://www.nittobo.co.jp/ir/library/integrated_report.htm



ESG課題への取り組み

日東紡グループは、企業市民としての責任を自覚し、「豊かな社会の実現に貢献」すべく、ESG課題に取り組んでいます。



サステナビリティ推進委員会

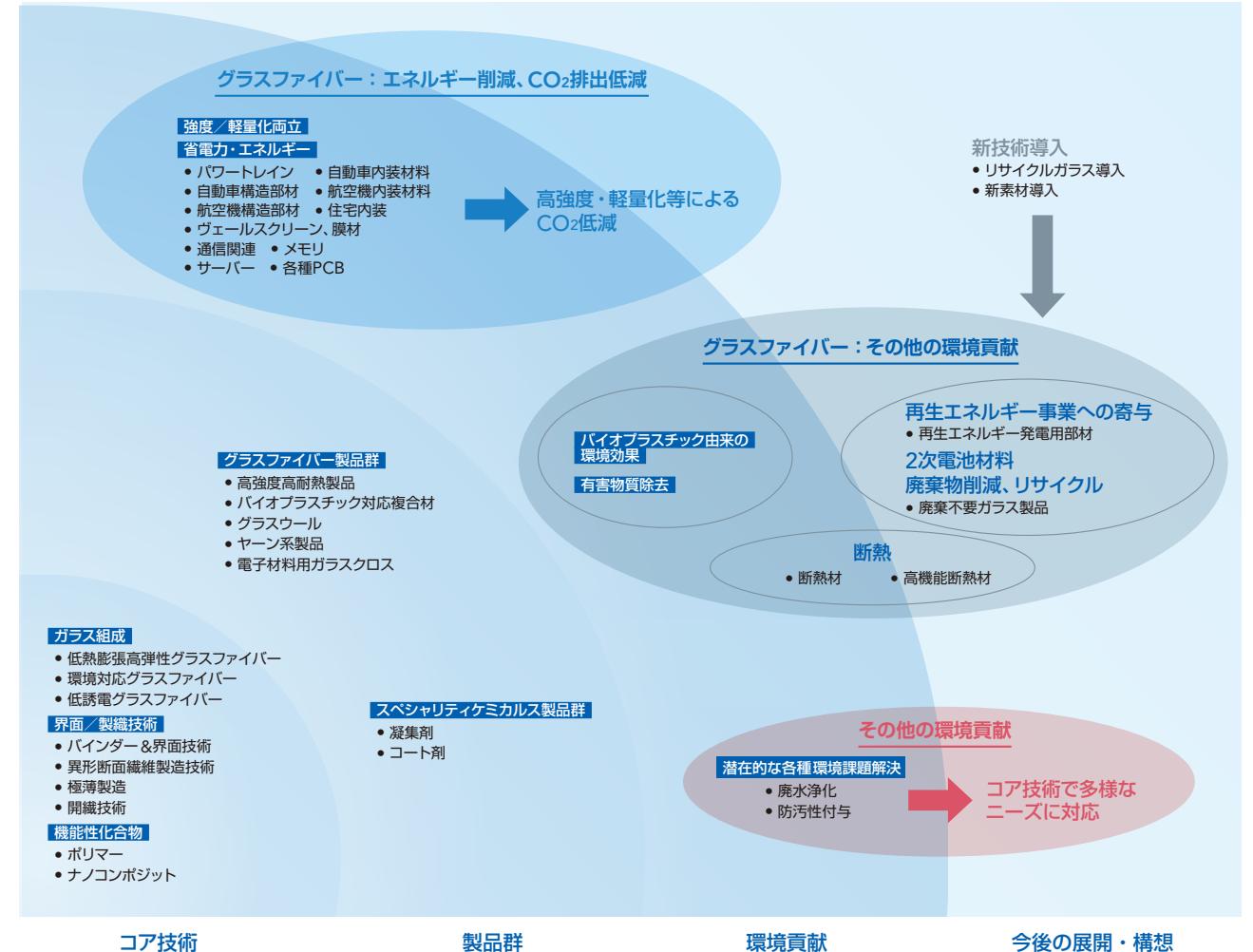
2021年4月、代表執行役社長を委員長とするサステナビリティ推進委員会を設置しました。環境課題への取り組み強化のため、以下のテーマを中心に、課題解決に向けた基本戦略と行動計画の策定、実績評価、事業機会の探索等を行うとともに、必要に応じて迅速な意思決定を行っています。

取り組みテーマ		
CO ₂ 排出量削減	リサイクル・リユースの推進	環境配慮型新商品の開発
<ul style="list-style-type: none"> 技術革新・プロセス改革によりCO₂削減の取り組みを推進 2030年度CO₂排出量30%削減に向けた検討（2013年度比）* 	<ul style="list-style-type: none"> 2030年度に廃棄ガラス実質ゼロを目指す 再生原料加工技術の確立に向けた取り組みを推進 	<ul style="list-style-type: none"> 新組織の環境技術戦略室を中心に商品開発を推進

*2021年4月に発表された日本政府の2030年度の新たな削減目標に賛同し、2030年度CO₂排出量30%削減を念頭に具体的な検討を進めています。

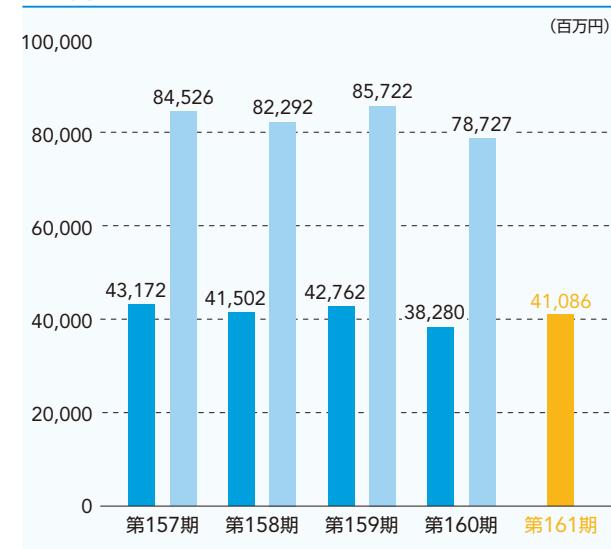
環境配慮型新商品の開発

日東紡グループは、保有する豊かな技術力と幅広い製品知見を駆使し、環境負荷を低減する商品の開発を推進しています。

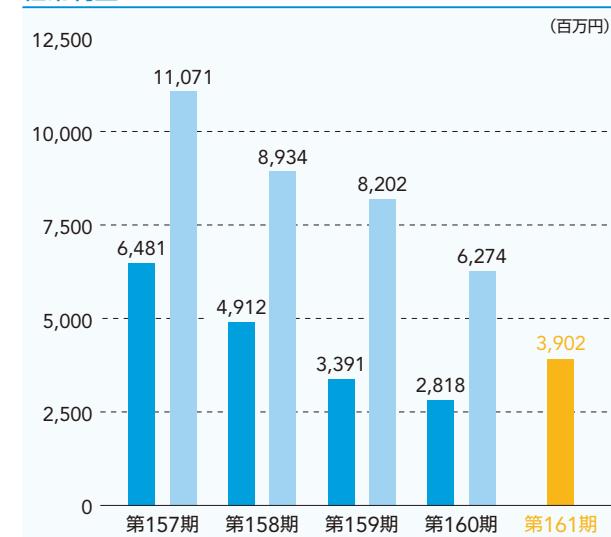


財務ハイライト (連結)

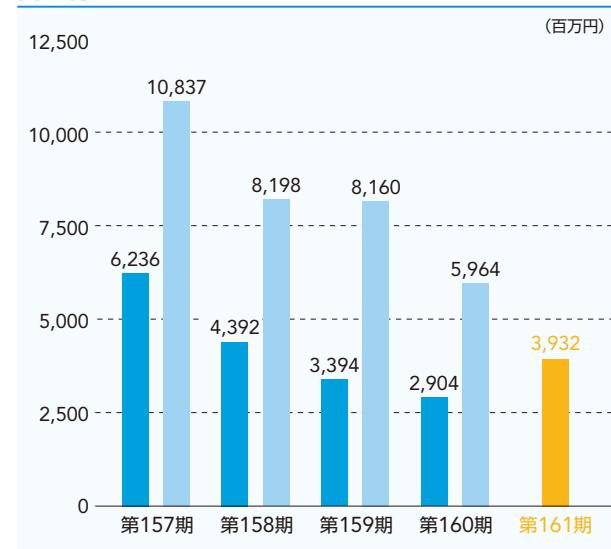
売上高



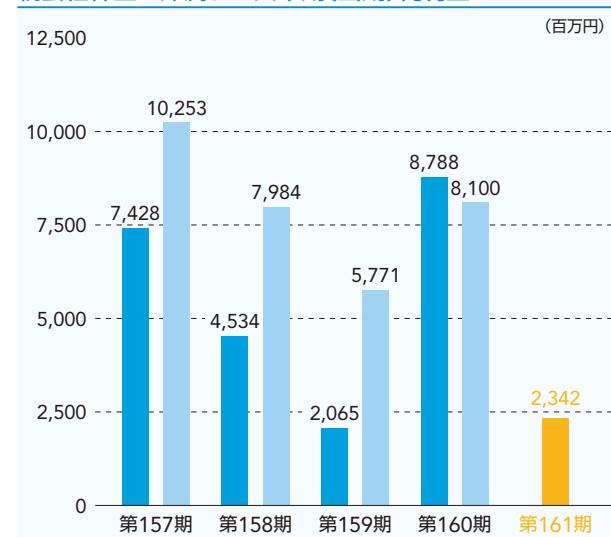
経常利益



営業利益



親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



財務諸表 (連結)

連結貸借対照表 (要旨)

(百万円)

科目	当第2四半期 連結会計期間末 2021年9月30日	前期末 2021年3月31日
(資産の部)		
流動資産	85,613	93,887
現金及び預金	22,377	30,320
受取手形及び売掛金	23,517	23,985
たな卸資産	35,984	34,346
その他	3,733	5,235
固定資産	98,497	90,764
有形固定資産	73,495	65,506
建物及び構築物	16,650	15,886
機械装置及び運搬具	25,415	21,246
土地	15,269	14,983
その他	16,158	13,390
無形固定資産	3,059	2,595
投資その他の資産	21,942	22,661
投資有価証券	16,951	17,282
その他	4,991	5,378
資産合計	184,110	184,652

(百万円)

科目	当第2四半期 連結会計期間末 2021年9月30日	前期末 2021年3月31日
(負債の部)		
流動負債	34,005	33,875
支払手形及び買掛金	6,610	6,570
短期借入金及び 1年内返済予定の長期借入金	15,139	12,770
その他	12,254	14,534
固定負債	42,566	46,387
社債及び長期借入金	26,838	29,322
退職給付に係る負債	7,435	7,976
その他	8,292	9,089
負債合計	76,572	80,262
(純資産の部)		
株主資本	99,490	98,008
資本金	19,699	19,699
資本剰余金	19,037	19,037
利益剰余金	63,315	61,831
自己株式	△2,562	△2,559
その他の包括利益累計額	2,487	1,123
その他有価証券評価差額金	2,484	2,714
為替換算調整勘定	1,133	△371
退職給付に係る調整累計額	△1,130	△1,220
非支配株主持分	5,559	5,257
純資産合計	107,537	104,389
負債純資産合計	184,110	184,652

財務諸表（連結）

連結損益計算書（要旨）

（百万円）

科目	当第2四半期 連結累計期間 2021年4月1日～ 2021年9月30日	前第2四半期 連結累計期間 2020年4月1日～ 2020年9月30日
売上高	41,086	38,280
売上原価	26,997	25,589
売上総利益	14,089	12,690
販売費及び一般管理費	10,156	9,786
営業利益	3,932	2,904
営業外収益	431	381
営業外費用	461	467
経常利益	3,902	2,818
特別利益	—	11,174
特別損失	399	1,762
税金等調整前四半期純利益	3,502	12,229
法人税等	1,088	3,342
四半期純利益	2,414	8,886
非支配株主に帰属する四半期純利益	71	98
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,342	8,788

連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（百万円）

科目	当第2四半期 連結累計期間 2021年4月1日～ 2021年9月30日	前第2四半期 連結累計期間 2020年4月1日～ 2020年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,519	6,370
投資活動によるキャッシュ・フロー	△9,996	5,070
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,693	935
現金及び現金同等物に係る換算差額	216	△75
現金及び現金同等物の増減額 （△は減少）	△7,953	12,301
現金及び現金同等物の期首残高	30,163	22,695
現金及び現金同等物の四半期末残高	22,209	34,997

会社概要

● 企業詳細

社名 日東紡（登記名：日東紡績株式会社）
 本店所在地 福島県福島市郷野目字東1番地
 本部所在地 〒102-8489 東京都千代田区麹町二丁目4番地1
 創業年月日 明治31年2月 郡山絹糸紡績株式会社（郡山）設立
 大正7年4月 福島精練製糸株式会社（福島）設立
 大正12年4月 日東紡績株式会社創立
 資本金 196億円
 従業員（連結）2,769名（単体）860名（2021年3月31日現在）
 ホームページ <https://www.nittobo.co.jp>

● 主な営業所・工場・研究所等

大阪支店 〒541-0043 大阪府大阪市中央区高麗橋4-3-10
 （日生伏見町ビル新館）
 名古屋支店 〒460-0003 愛知県名古屋市中区錦2-14-21
 （円山ニッセイビル）
 福島工場 〒960-8581 福島県福島市郷野目字東1
 福島第2工場 〒960-2154 福島県福島市佐倉下一本杉20
 富久山事業センター 〒963-8061 福島県郡山市富久山町福原字塩島1
 新潟事業センター 〒950-0065 新潟県新潟市東区東新町6-50
 泊事業センター 〒939-0744 富山県下新川郡朝日町平柳500
 伊丹生産センター 〒664-8501 兵庫県伊丹市桑津1-6-1
 ファイバー研究開発センター（福島工場内）
 メディカル研究開発センター（富久山事業センター内）
 サテライトラボ NI-Tech 〒210-0821 神奈川県川崎市川崎区殿町3-25-14
 （ナノ医療イノベーションセンター3階3108号室）

● 連結子会社

（2021年9月30日現在）

日東グラスファイバー工業(株) 富士ファイバーグラス(株)
 日東グラステックス(株) NITTOBO ASIA Glass Fiber Co., Ltd.
 Baotek Industrial Materials Ltd. (株)双洋
 (株)日東紡テクノ パラマウント硝子工業(株)
 ニットーボーメディカル(株) Nittobo America Inc.
 ニットービバレッジ(株) 日東紡アドバンテックス(株)
 ニットーボー新潟(株) 日東紡エコロジエ(株)

その他9社

● 取締役

（2021年6月25日現在）

取締役	辻 裕一
取締役	西坂 豊志
取締役	野崎 有
社外取締役	尾内 正道
社外取締役	藤重 貞慶
社外取締役	影近 博
社外取締役	内藤 亜雅沙

● 執行役

（2021年6月25日現在）

代表執行役社長	辻 裕一*
常務執行役	竹内 実
常務執行役	多田 弘行
常務執行役	五十嵐 和彦
常務執行役	畑 中英之
執行役員	柴 達雄
執行役員	松 永隆延
執行役員	須釜 裕司
執行役員	梶田 明正
執行役員	梶川 浩希
執行役員	林 寿信
執行役員	畑 中克哉

*は取締役兼務

● 技監

（2021年6月25日現在）

上席技監	前山 茂
技監	石原 英幹

株式情報

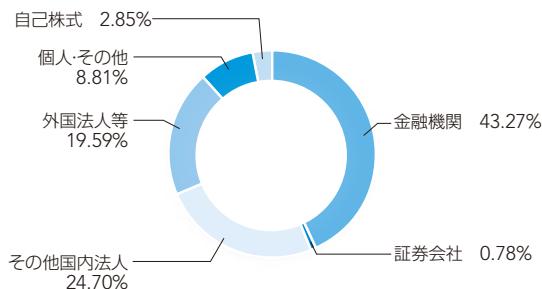
● 株式の状況

(2021年9月30日現在)

発行済株式総数	39,935,512株
株主数	8,621名

● 所有者別分布状況

(2021年9月30日現在)



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月下旬
基準日	定時株主総会の議決権 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日
公告方法	当社ウェブサイト内の下記アドレスに掲載します。 https://www.nittobo.co.jp/ ただし、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
上場取引所	東京証券取引所市場第一部（証券コード3110）
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目3番3号 みずほ信託銀行株式会社
郵便物送付先 電話お問合せ先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝休日を除く9:00~17:00)

※詳細は当社のホームページ (<https://www.nittobo.co.jp/>) をご参照ください。

日東紡績株式会社

東京本部 〒102-8489 東京都千代田区麹町二丁目4番地1

● 大株主

(2021年9月30日現在)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	4,693	12.10
株式会社日本カストディ銀行（信託口）	2,965	7.64
住友不動産株式会社	2,383	6.14
日本生命保険相互会社	1,614	4.16
第一生命保険株式会社	1,316	3.39
住友生命保険相互会社	1,082	2.79
エア・ウォーター株式会社	997	2.57
セントラル硝子株式会社	948	2.44
株式会社東邦銀行	905	2.33
TAIYO FUND, L. P.	894	2.31

※持株比率は、自己株式を控除して計算しています。

● 株式事務に関するご案内

お問合せ内容	お問合せ先
支払期間経過後の配当金について	みずほ信託銀行株式会社 フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝休日を除く9:00~17:00)
氏名・住所等変更	口座を開設されている証券会社等 ※口座を開設されていない方は、上記 みずほ信託銀行株式会社
配当金受領方法の変更	

※特別口座では、単元未満株式以外の売却を行うことはできません。
また、単元株式を売却するには、証券会社にお取引口座を開設し、特別口座から株式を振り替えるお手続きが必要です。